

院内がん登録 2011(平成23)年診断症例概要報告

2008(平成20)年診断症例生存確認調査(予後調査)結果報告

当院は地域がん診療連携拠点病院として厚生労働省より指定を受けており、その指定要件の一つに「院内がん登録の体制整備」と「腫瘍データの国立がん研究センターがん対策情報センター(以下国がん)への提出」が求められている。今回は、その第5回目の調査に提出したデータの概要について報告する。

また、2012年に2008年診断症例について生存確認調査(予後調査)を実施したのでその結果について併せて報告する。

1 2011年診断症例登録概要

対象期間 2011年1月1日～12月31日

登録件数 700

登録対象 入院・外来を問わず、上記期間中に自施設において当該腫瘍に対して初診、診断・治療の対象となったもの。

「国際疾病分類-腫瘍学第3版(以下ICD-0-3)」における形態コードの性状が2(上皮内癌)もしくは3(悪性、原発部位)のもの。脳腫瘍は原則として良性も登録対象となる。

登録項目 「院内がん登録 標準登録様式 登録項目とその定義」 2006年度修正版による標準項目
留意事項

- ※1 院内がん登録の定義により、転移がんのため受診した場合も原発部位により登録を行う。
- ※2 登録開始日以降の当該腫瘍に対し、初診、診断・治療の対象となったものが登録対象であるため他の診療データの状態とは異なる。(登録開始日前からの自施設における継続治療症例、再発症例は登録対象から除外される)
- ※3 1腫瘍1登録(重複がんの場合それぞれの腫瘍が登録対象)

2 診断時住所別

図1 都道府県別

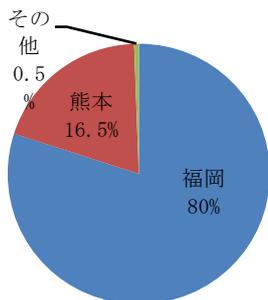
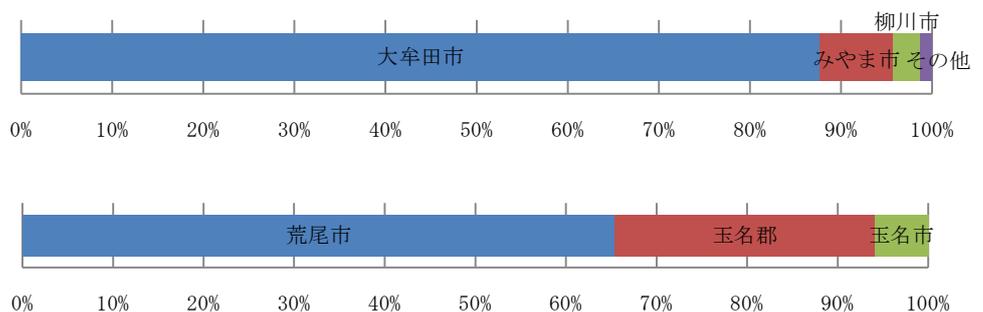


図2 市町村別(福岡、熊本)



例年と同様に福岡県と熊本県で登録症例のほぼ全体を占めているが、2011年は東日本大震災の影響のためか東北地方からの患者を受け入れていた。

3 患者属性別

図3 年齢構成別

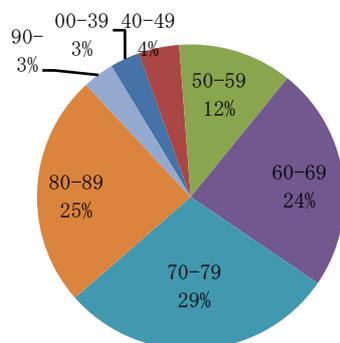
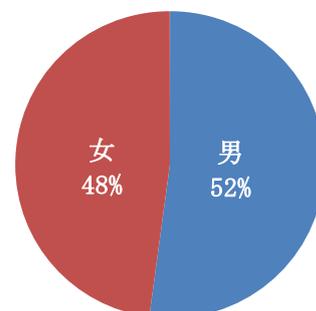


図4 男女別



4 原発部位別 男女別登録数

部位	男性	女性	計	割合
計	366	334	700	100.0%
口腔咽頭	11	3	14	2.0%
食道	29		29	4.1%
胃	53	23	76	10.9%
十二指腸	2	1	3	0.4%
大腸（結腸・直腸）	58	48	106	15.1%
肛門管		1	1	0.1%
肝・肝内胆管	44	31	75	10.7%
胆のう・その他胆道	6	10	16	2.3%
膵	9	15	24	3.4%
喉頭	9	5	14	2.0%
気管支及び肺	17	4	21	3.0%
皮膚	18	22	40	5.7%
後腹膜及び腹膜	1		1	0.1%
乳房	2	55	57	8.1%
膣		1	1	0.1%
子宮頸部・体部		38	38	5.4%
卵巣		12	12	1.7%
卵管		1	1	0.1%
陰茎	1		1	0.1%
前立腺	49		49	7.0%
精巣	2		2	0.3%
腎	10	8	18	2.6%
腎盂・尿管	5	6	11	1.6%
膀胱	22	10	32	4.6%
脳・中枢神経	3	7	10	1.4%
甲状腺	2	7	9	1.3%
白血病・悪性リンパ腫	12	23	35	5.0%
原発不明	1	3	4	0.6%

○2011年診断症例は700症例（当院で診断と初回治療：591例、当院で診断のみ：35例、他院で治療開始後・再発：74例）で、登録総数に前年比較して大きな変化は見られなかった。

○主要5部位で全体の約5割を占める他、大腸、食道、前立腺に増加傾向がみられる。

○色表示はそれぞれ以下のとおり

- 橙：五大がん：主要5部位（胃、大腸、肝、肺、乳房）
- 青：男女あわせての部位別上位10
- 緑：男性の部位別10
- 桃：女性の部位別10

*登録数には上皮内癌を含む

*転移部位治療のための受診であっても原発部位により登録を行う

〔参考〕診断年別上位10部位の推移

2008年		2009年		2010年		2011年		
順位	部位	件数	順位	部位	件数	順位	部位	件数
1	大腸	80	1	肝	76	1	胃	82
2	肝	55	2	大腸	74	2	大腸	82
3	胃	53	3	胃	69	3	肝	78
4	乳房	43	4	乳房	64	4	乳房	58
5	子宮頸部・体部	37	5	子宮頸部・体部	58	5	子宮頸部・体部	57
6	皮膚	30	6	皮膚	52	6	皮膚	46
7	前立腺	27	7	気管支及び肺	39	7	気管支及び肺	45
8	膀胱	19	8	前立腺	37	8	膵	36
9	膵	18	9	白血病・リンパ腫	32	9	前立腺	30
10	気管支及び肺	16	10	膵	24	10	膀胱	28
総登録数		497	総登録数		679	総登録数		713
								700

5 主要5部位の病期（ステージ）と進展度

初回治療前（UICC 6版 肝のみ取扱い規約4版）

	0期	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明空白
胃		38	6	6	18	3
大腸	5	21	23	18	14	15
肝		15	20	18	9	3
肺		2		1	4	
乳房	4	11	19	5	1	

※UICC TNM=国際対がん連合 TNM 悪性腫瘍の分類 取扱い規約=癌取扱い規約

UICCの定めるステージング方法に基づき、何らかの治療が行われる前につけられた病期を指す。わが国の通常臨床現場で使用される癌取扱い規約に基づくステージとは若干異なる。

前医で治療がなされており、治療前のステージが不明な場合などは「不明」に分類されるか、空白のまま登録される。院内がん登録では2012年1月診断症例よりUICC7版、肝癌取扱い規約が5版に変更される。

病理学的（UICC）

	0期	I 期	II 期	III 期	IV 期	術前治療後	不明空白
胃		36	5	4	4	1	21
大腸	5	25	30	18	5	1	12
肝		3	3	2		4	53
肺					1		6
乳房	4	10	17	4	1	1	3

手術が行われた症例に関して、術後に検体が提出され病理学的に算出されるステージを登録する。

手術が行われなかった症例は空欄で、術前に化学療法や放射線治療等が行われた場合には「術前治療後」として登録され、通常の手術症例とは区別される。

当院での肝に対する治療はTAE（肝動脈塞栓術）等、院内がん登録において「その他の治療」に分類されるものの選択が多いため、肺については放射線治療が主となるため病理学的病期で不明・空白に分類されるものが多くなる。

進展度（病理学的）

	上皮内	限局	所属リンパ節転移	隣接臓器浸潤	遠隔転移	術前治療後	不明空白
胃		37	2	10	1	1	21
大腸	5	53	14	7	5	1	12
肝		6		2		4	53
肺					1		6
乳房	4	20	7	4	1	1	3

全がん共通で作られた分類。経時的な集計・変化を観察する目的で地域がん登録用に特別に簡素化されたステージであり、地域がん登録と院内がん登録において、がんの拡がり・進行の程度を表す共通の項目として使用される。

6 2008年診断症例生存確認調査（予後調査）結果

以下は、住民票照会、地域がん登録予後情報照会実施後の判明状況である。（2012年12月時点）

○手順

- ① 来院情報、院内死亡情報、他施設等からの情報提供の有無確認
- ② ①で確認できないものについて福岡県分については該当自治体へ住民票照会（福岡県と福岡県がん診療連携拠点病院協議会 院内がん登録専門部会との申し合わせにより定められた要領に沿って実施）
熊本県分については地域がん登録室へ情報照会

○対象：届出全件

	合計	福岡県	熊本県	その他
生存	242	207	35	0
死亡	224	189	33	2
不明	31	9	21	1
合計	497	405	89	3
判明率	94%	98%	76%	67%

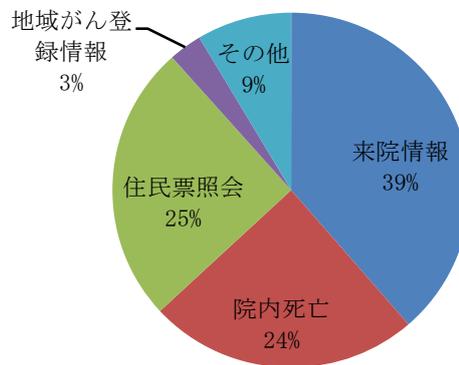
生存

情報源	判明数
来院情報	180
住民票照会*1	62
地域がん登録情報照会*2	
その他*3	
計	242

死亡

情報源	判明数
院内死亡	114
住民票照会*1	56
地域がん登録情報照会*2	14
その他*3	40
計	224

図5 判明分の情報源



- *1 住民票照会は福岡県のみ実施 *2 地域がん登録情報照会は熊本県のみ実施
*3 その他はかかりつけ医、紹介先あるいは家族からの情報提供
(文書、電話連絡等)